

部が直接統括する分野別委員会合同分科会の設置について

合同分科会の名称：人文・社会科学の役割とその振興に関する分科会

1	担当部及び関係委員会名	第一部
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>日本学術会議は、かねてから人文・社会科学を含む学術の総合的発展の重要性を強調してきた。提言「第5期科学技術基本計画のあり方に関する提言」（平成26年2月27日日本学術会議学術の観点から科学技術基本計画のあり方を考える委員会）においても、「自然・人間・社会に関して深くバランスの取れた知を蓄積・継承し、新たに生み出していくことは、知的・文化的に豊かな社会を構築し次世代に引き継いでいくことに貢献すべき科学者にとって、責任ある課題である」とした上で、「学術の総合性という視点に立って、とりわけ人文・社会科学の振興を明確に位置づけ、」「それにふさわしい方策を打ち立てることが急務」であると指摘している。</p> <p>とりわけ現在、国立大学の改革が急テンポで進められようとしている。国立大学に対する国の支援のあり方については日本学術会議としても委員会を設けて検討する態勢をとっているが、この改革の動きの中で人文・社会科学がどのように位置づけられるかは、国立大学の枠を超えてその研究・教育に大きな影響をもたらす可能性があり、独自の検討が必要である。</p> <p>そこで、学術研究と教育における人文・社会科学のあり方とその役割についての検討を深めつつ、その振興のための具体的な課題を明らかにし、提言をまとめるために、第一部が直接統括する分野別委員会合同分科会を設置し、独自に検討することとしたい。</p>
4	審議事項	<p>1. 学術研究と教育における人文・社会科学のあり方とその役割についての検討。</p> <p>2. 人文・社会科学の振興のための課題についての検討。</p>
5	設置期間	<p>時限設置 平成27年6月19日～平成29年9月30日</p> <p>常 設</p>
6	備考	